



翔鷹

アブダビ日本人学校 学校だより

令和4年度
3月号

R4. 3.1 発行
編集：教頭

アブダビ日本人学校の冬

校長 宮崎 幸夫

夏には日向で50℃を超えるアブダビ日本人学校ですが、11月に入ると最高気温も30℃に届かなくなり朝晩は20℃前後になって過ごしやすい日が続きます。この時期に11月から2月にかけて小学部の生活科や理科、中学部の技術家庭科で植物の栽培に取り組みます。主に日本の夏野菜の代表、キュウリ、茄子、トマト、オクラ、ヘチマなどを育て、今年度はひまわりやペチュニアも栽培しました。近年にないほど花壇が豊かになりました。児童生徒は登校するとまず、自作のペットボトルジョウロに水を汲み、育てている植物にたっぷり水やりをします。毎日忘れることなく本当によく世話をしています。花壇はほとんどが砂ですのでその上に栽培用の土を盛り種を蒔きます。下地が砂ですから児童生徒が撒いた水はあっという間に下地の砂に吸われなくなります。それでも子どもたちは時間の許す限り水をやり続けます。



数日で芽が出て数週間で花が咲きます。私も日本では趣味で畑をやっていましたのでその時の経験を先生や子どもたちに話してあげると低学年の子どもたちも真剣に聞いてくれます。キュウリやヘチマのような虫媒花はまず、雄花が先に咲きだし数週遅れて雌花が咲き出すこと。オクラは花も食べられオクラの実と同じ味がすること。オクラや茄子はほぼ100パーセント結実すること。キュウリは結実すると成長が速く2、3日でびっくりするほど大きくなること。本校の児童は誰よりも日本の野菜のことを知っています。

開花当初は虫も寄ってこず雄花だけが無残に落下して子どもたちをがっかりさせることもありましたが、そのうち虫も寄ってくるようになり後ろ足に花粉団子をいっぱいつけたハチの姿も目立つようになってきました。そしていよいよ収穫です。お道具箱から自分のはさみをもってきて自分の育てたオクラを収穫し、普段はなかなか見せることのないような満面の笑みを浮かべながらみんなとても満足そうです。共同で栽培したキュウリなどは担任の先生が簡単に調理しみんな食べていますが普段はキュウリなど食べない子どももこの時は「おいしい！」と食べている姿を見るとこちらもうれしくなります。ナショナルデーの連休で20cmほどに大きくなったオクラを見つけて「校長先生オクラがキュウリになっちゃった！」とはすごい発想です。

遠く日本を離れた異国の地で日本野菜を栽培した経験や思い出は本校の児童生徒にとってかけがえのない思い出としてずっと残ってくれることを期待しています。

3月の生活目標 感謝しよう

【 3月 March 】

日	曜	主な行事（授業日数 8）
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	卒業式
10	木	令和3年度修了式
11	金	春季休業日（始）
12	土	帰任先生送別20：30学校
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	春休み中の来校や 休み明けの登校に は96時間以内の陰 性証明の提出が必 要です。
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

始業式 入学式は4月13日です。

3月末で離任・帰国される先生方からメッセージをいただきました。ありがとうございました。新転地での益々のご活躍を！

<木津 陽介 先生>

アブダビ日本人学校では3年間勤務させていただきました。アブダビの西空を彩る夕陽のように色濃く、あっという間に過ぎた時間でした。「日本人とエミラティとが共に学ぶ世界で唯一の日本人学校」であるこの学校で働き、子どもたちと共に学べたことは私にとってかけがえのない宝物となりました。

日々の教育活動にご理解ご協力いただいた保護者の皆様を始め、アブダビ日本人学校に携わる全ての皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

<山本 隆一 先生>

温かく見守ってくださった保護者の皆様、日本人会の皆様のおかげで、無事に3年の任期を終えることができました。私は、アブダビ日本人学校の子どものたちの「純粋で一生懸命なところ」が大好きでした。アブダビ日本人学校のみなさん、これからも、鷹が大空を飛び回るように、自分の可能性を信じ、夢に向かって羽ばたいていてください。私も、全速力で走っていきます。3年間、ありがとうございました。

<新城 英和 先生>

アブダビでの3年間は「最高だった。」この言葉に尽きます。

ここでの多くの出会いや別れは私にとってたくさんの学びになりました。また、コロナ渦で不自由な中でも一生懸命学ぼうとする子どもたちの姿、学校再開時の笑顔は一生の宝物となりました。みなさんと日本で再会できるのを楽しみにしております。

保護者の皆さま、学校を支えてくださっている日本人会の皆さま、3年間本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。

<松田 拓 先生>

アブダビで過ごした3年間は楽しくて充実し、学びの多い時間でした。「海外で仕事がしてみたい」という夢を叶えることができた達成感と、挑戦して良かったという気持ちでいっぱいです。それはもちろん、アブダビ日本人学校が素晴らしいことと、児童生徒の皆さん、保護者の方々、全職員の笑顔と協力あったことだと感謝しております。困難な状況は今も続いています、皆様の健康とご活躍を祈っています。お世話になりました。

（今号は3ページ目に続きます。）

<西山 裕介 先生>

エミラティ児童生徒の支援担当の NPO 主任として、2 年間勤務させていただきました。また、本年度は G9 の学級担任としても本校に関わらせていただきました。コロナ禍ではありましたが、日本人とエミラティの子どもたちの元気に支えられ、アブダビ日本人学校での楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちの今後の活躍を心より期待しております。保護者の皆様におかれましては、日頃よりご協力をいただきまして、大変感謝しております。

<浅地 恭子 先生>

時があっという間に過ぎていったのは、毎日が楽しすぎたからだと思います。コロナ禍で行事もできず、ゴールもなかなか見つけられず、大人も子どもも苦しい日々だったと思います。ただ私は、オンラインでも対面でも、子どもたちの笑顔と「おはよう」の声に元気をもらって毎日とても幸せでした。みなさま本当にありがとうございました。まだまだ不自由な日々が続きますが、子どもたちの笑顔、みなさまの幸せがずっと続きますように。

<桑原 留美 先生>

「みんなちがって、みんないい」。いつも一緒に勉強していた G3 の教室で、よく出ていた言葉です。アブダビ日本人学校にいて、この言葉の良さをより深く実感しました。アブダビ日本人学校の皆さんと過ごせたこの二年間は、自分の人生の宝物です。お世話になりました保護者の皆様、学校に携わる全ての皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。またいつか、どこかでお会いできますように。心から、ありがとうございました。

<岡本 祥平 先生>

コロナで赴任が遅れてから、早いもので一年半のアブダビ生活が終わろうとしています。アブダビに初めて来たときの胸の高鳴り、日本人学校での子どもたちとの素敵な日常が今も心にいきいきと残っています。世界で唯一の日本人とエミラティが集い学ぶ場で働けたことはかけがえのない経験になりました。ここで巡り合った数々の出会いを大切に自分の夢に向かって進んでいきます。また世界のどこかで会いましょう。!! مع سلامة

★年度末～令和 4 年度始業式までのお知らせ★

3 月 2 日 (水)～4 日 (金) 新年度教科書配布

この期間に担任の先生（新 1 年生は幼稚園 KG3）から新年度教科書が配布されます。

3 月 9 日 (水) 卒業式

本校講堂にて開催予定。午前中 4 時間授業で、在校生は 12 時下校、13 時より来校者受付。来賓（磯俣大使、高橋理事長）と保護者（各家庭 2 名）にご来校頂き 13 : 30 開会 14 : 15 閉会予定です。

3 月 10 日 (木) 修了式

この日は 3 時間授業時程で、下校時刻バス発車は 11 時 30 分です。

3 月 11 日 (金)～4 月 10 日 (日) 春休み中の学校への連絡

この期間 Teams 再編のため、担任個人チャットへの連絡はできなくなります。緊急な連絡のみ学校へお電話か、メール (jsad@jsad.ae) でお願ひします。また、春休み中コロナ感染関係の学校への報告は不要です。ただし、4 月 13 日の始業式登校に影響が出る場合はご連絡下さい。

4 月 13 日 (水) 始業式 入学式 (7 : 45 登校 午前 始業式等 12 : 20 下校 13 : 30 入学式)

初回登校日ですので 96 時間以内の陰性証明 (国外旅行された場合には旅行申告書) の提出が必要です。登校前までに Teams アブダビ日本人学校 (全校 All school) に新学年でご提出ください。